

発行 江東・生活者ネットワーク  
江東区議会民主クラブ (Tel 3648-2117)  
発行責任者 園部典子  
〒136-0072 東京都江東区大島4-7-3  
Tel 03-3636-9044 Fax 03-3636-9046  
Eメール koto@seikatsusha.net  
ホームページ http://koto.seikatsusha.net  
郵便振替口座 0013-4-647341

# 江東・生活者ネットワーク通信



## 保育所は「子どもと家庭のセーフティネット」

### 自治体調査からみる

### 江東区の待機児対策と子どもの権利

都市部で特に深刻化している保育所待機児問題に対して、今年4月、「保育園を考える親の会(代表・普光院亜紀さん)」が、江東区を含む23区・首都圏主要都市・政令指定市合わせて95区市(回答は85区市)を対象に、「待機児対策に関する自治体調査(以下調査)」を行い、「報告書と提言」を公表しています。

調査への江東区の回答を基に、追加調査を行い、江東区の待機児問題・対策の問題点を考えます。

#### セーフティ・ネット

#### 問われる保育所の質の確保

「2001、2年の入所申請者の傾向」を問う質問に対し、認証保育所(A型=駅型)、駅に近い高架下、店舗の2階にある。集合住宅やオフィスビル、空き店舗などに整備されることが多いが、認可保育所との保育環境の格差は明らかだ。

人と公表されています。しかし、認可保育所に入所申請した2647人のうち、入所できなかったのは1730人、4月1日に認可保育所に入所できなかった児童は917人。その内訳は、335人が認証保育所、29人がその他(保育室・グループ保育室・家庭福祉員)、196人が休職の延長、45人が自宅保育となっています。

#### 待機児対策を認める

認可保育所数は39と、東京都23区町村中一番多く(10月1日現在)、区は認可保育所の整備とともに認証保育所も積極的に誘致を進めており、待機児対策を認証保育所に頼っているのは明らかです。

#### 調査では江東区の待機児童数が、23区中3位であることも明らかにしています。

#### 保育の質の低下を招かない待機児対策を

保育所は乳幼児が生活時間の大半を過ごすところであり、その保育サービスの質を確保するために、国は児童福祉施設の最低基準を定めています。保育の質が問われる中、今年5月、社会保障審議会少子

#### 化対策特別部会に出された「機能面に着目した保育環境・空間に係る研究事業」報告では、子どもの発達保障の視点から、現在の最低基準は「遵守しなければならぬ最低低い基準」としています。

#### 壁に囲まれ庭もない認証保育所は、東京都独自の制度で、児童福祉法による保育に欠ける児童の保育サービスを保障するものではありません。

#### 江東区が認証保育所に頼る待機児対策を進める実態があるのなら、区はその質を保障する責任があります。

#### 増えている発達障がいや虐待など子どもさまざまな問題に対応できるように、保育士の資質向上を図る研修を進めるとともに、子どもの発達に

#### 配慮した保育環境を向上させるための、点検と支援のしくみを整えるべきです。

#### また、国は大都市に限り、条例による保育所の基準緩和を進めようとしています。

#### 江東ネットは、子どもの最善の利益を優先しその発達を保障する児童福祉法と子どもの権利の視点から、安易に進めるべきではないと考えます。

#### (子ども部会)

#### 《1》最も多いのが「求職中」69.2%、次に「育児休暇明け」62.8%、「ひとり親世帯」46.2%、「保護者の心身の不調、虐待の懸念などからの措置」34.6%、「生計中心者の失業その懸念減給などの訴え」28.2%とつづく選択・複数回答式、有効回答78区市

#### 《今年度の保育所待機児童数》

#### 東京23区は53%増の4613人朝日新聞調査。政令指定市・中核市、東京23区の計79市区の待機児童数は、今年4月1日現在1万3707人、昨年1万3033人より33%増えている(厚生労働省・東京都公表)。

### インフォメーション

長編記録映画「いのちの作法」2010江東上映会  
 卍30年代、「豪雪・貧困・多病多死」で苦しむ岩手県旧沢内村、深沢晟雄村長は「生命尊重の理念」のもと、全国に先駆け、乳児の医療費無料化を実現し、また、日本で初の乳児死亡率ゼロを達成した。小池征人監督「いのちの作法」は、和賀町(旧沢内村と旧湯田町が合併)を舞台に、老いても輝ける命があり、障がいを持っていても寄り添いながら生きられる「生命を託せる小さな社会」があることを映し出している。

日時 2010年1月17日(日)14:00~16:30 (開場 13:30)  
会場 江東区文化センター 視聴覚室(3F)  
(東京メトロ東西線東陽町駅徒歩5分)  
参加費 一般 500円、65歳以上と中・高校生300円  
第1部 「いのちの作法」-沢内「生命行政」を継ぐ者たち-上映  
第2部 小池征人監督の話  
(ウクレレ演奏/森拓治さん/「いのちの作法」音楽担当)  
主催 いのちの作法上映実行委員会(賛同 江東・生活者ネットワーク他)

第2回ぜん息調査シンポジウム  
~子どもの健康とプラスチック焼却を考える~  
日時 2009年12月6日(日) 13:45~16:00  
会場 江東区総合区民センター 会議室(予定)  
講師 青木泰さん  
(ごみ環境ジャーナリスト、NPO法人 ごみ問題5市連絡会・事務局長)  
主催 ぜん息調査実行委員会(賛同 江東・生活者ネットワーク他)

いずれも、申込み・問合せは江東・生活者ネットワークへ

# 区議会報告

2009年第3回定例会

9/28-10/27



区議会議員 田部典子

9月29日、本会議において田部典子は区政一般質問を行った。新基本計画と「区民参加・協働」の認識としくみづくり、「江東区版放課後子どもプラン」、子ども施策の総合計画「次世代育成支援後期行動計画」と子どもの権利、化学物質削減と石けん使用の推進、温暖化防止とごみゼロ、脱焼却に向けた取り組みの大綱4点を質問。質問内容と答弁は、田部典子ホームページ、又は区議会ホームページの動画配信を参照ください。ここでは、2008（平成20）年度決算審査特別委員会での質疑をもとに報告する。

## 決算審査特別委員会より

高齢社会を支える  
介護支援ボランティア制度  
シニア世代の力を活かす

「介護支援ボランティア制度」はシニア世代の力を地域に活かす取り組みとして、2006年度に稲城市で始まり、世田谷区や墨田区など全国へ広がっている。この事業はボランティア研修を行ったうえで、介護保険施設でボランティア活動（話し相手やレクリエーションのお手伝い、掃除など軽作業など）を行い、その活動に対してポイントが与えられ、介護保険の地域支援事業として保険料の負担軽減にも使つことができるというしくみだ。杉並区は対象の範囲を「地域貢献活動」や「いきがい活動」にも広げ、区内商品券と交換する。

江東区では、08年度より団塊世代から概ね74歳までの、

2万4千人を対象とした「シニア世代地域活動」と押し事業」を開始、今年度、特別養護老人ホームでのボランティア体験などが実施されている。この事業を「さざんかカード」と運動するなど地域性を生かし、高齢社会における「さまざまな能力をもつシニア世代」が生きがいと意義を感じられ、何よりも高齢者支援の力となる事業に発展させることを検討すべきと提案。区はボランティアセンターと連携し、導入に向け検討していくとの答弁を得た。

江東区版放課後子どもプラン課題を抱えた子どもを「育ちをどう保障するのか」家で学校でもいわゆる「良い子」が、「げんきつず」（全児童を対象とした放課後子ども教室）の指導員にたいして、いらだちや寂しさ、怒りや甘えなどという感情をさまざまな形でぶつけてくる

いう話を聞く。

心を許し安心して過ごせる場所がひとつ増えたことは歓迎すべきだが、「げんきつず」はあくまで「遊びと見守り」が目的、区の業務委託の「仕様」では、子どものさまざまな問題に対応することまでは求めていない。

しかし、虐待やいじめ、貧困など問題を抱えている子どもが増えている今、子どもの問題に気づき、対応できる人材とともに、学校との連携をすすめる、定期的な協議の場を持つことが必要だ。

区は今年度から、「げんきつず」指導員に学童クラブや児童館職員を対象とした研修に参加することを呼びかけているが、研修の機会を保障するためには研修費を委託費に算入するなどの支援を同時に行うべきだ。

また、学童クラブでは、発達障がい（\*1）の子どもに対して、児童心理の専門家が巡回で行動観察をし、指導員と情報交換・支援を行っている。発達障がいには早期に発達支援を行うことが重要であり、「げんきつず」でも同様の支援を行うべきと提案したところ、今後、学童クラブと同様の実施に向けて検討するとの前向きな答弁を得た。

\*1 自閉症、アスペルガー症候群その他広汎性発達障がい、学習障がい、注意欠陥多動性障がいその他これに類する脳器官障がいの総称。

## ～検証！ 廃プラ焼却で何が起きているのか?!～

江東ネットは、2005年10月、廃プラスチック（以下廃プラ）の可燃ごみへの分別変更方針が出されて以来、一貫して焼却反対の立場で活動を続け、議会質問を繰り返してきた。江東区を最後に全区で廃プラが可燃ごみとなり半年が過ぎたが、いくつかの問題点が表面化してきた。これらは、東京23区清掃一部事務組合（以下一組）がよく使う言い訳「たまたま起きたこと」ではないことを、事実に向き合いながら検証していきたい。

### 廃プラ焼却で、CO2排出量46.3%↑増

10月19日、新江東清掃工場を見学した際、朝日新聞が報道した「一組の全22事業所では、焼却を主な理由とする二酸化炭素(CO2)の排出総量が増加。昨年度は約89万7千ト(06年は約61万ト)」の根拠を質問したところ、「温暖化対策法に基づくCO2(非エネルギー起源)排出量」(表は区内工場を抜粋)を提示し、09年度は江東区の廃プラ焼却全面实施で、排出量は増える見込みとのことだ(\*有明清掃工場は事業系の管路収集と持込ごみのみ、事業系廃プラは不燃ごみ)。

(単位t-CO2)	06年度	08年度	08対06比
有明*	24,100	19,100	79.3%
新江東	66,600	100,000	150.2%
中防灰溶融	9,560	10,800	113.0%
22工場合計	613,260	896,900	146.3%

一組は廃プラ焼却による温室効果ガスの増加は約16.6万トと推計したが、実際はその約1.7倍の増加量というのは問題だ。エネルギー由来のCO2排出量を含め、調査を継続する。

消石灰・苛性ソーダなど薬剤の使用量増加  
廃プラ混合焼却により炉内の燃焼が不安定

になり、さまざまな問題が起きていることは、江東ネット通信前号で報告したが、今回、新江東清掃工場の薬剤の使用量を調べた。

09年度半年の未確定値をもとにした試算だが、塩化水素や硫酸化合物を除去する苛性ソーダや消石灰、窒素酸化合物を除去するアンモニアは21~29%↑、ダイオキシン反応助剤は14%↑増えている。これは廃プラが増えたことにより、炉内で塩化水素や硫酸化合物、窒素酸化合物、ダイオキシンなどの発生量が増えていることを示唆している。検証が必要だ。

### 雨水から環境基準を超えるダイオキシン

9月19日の朝日新聞「雨水にダイオキシン、練馬清掃工場、環境基準上回る」という報道に驚いたが、その後全清掃工場の雨水・排水中のダイオキシン測定値を入手できた。これによると、記事にある練馬清掃工場が6.8pg-TEQ/L(以下pg)と突出しているが、環境基準を超えている清掃工場が9工場あり、区内の有明清掃工場が2.0pg、中防灰溶融施設が1.6pgという値だった。

10月29日、急きょ有明清掃工場と中防灰溶融施設を見学し、担当者の話を聞いた。有明清掃工場では、屋根に降った雨水は施設内の清掃等に利用後、污水处理施設で処理



夢の島ヨットハーバーの向こうにそびえる巨大な新江東清掃工場(600ト×3炉)。10年3月、工場を中心に周辺の松葉を採取しダイオキシン・重金属調査を行う。市民による環境監視活動を地道に継続していく。

し下水へ、敷地内の雨は降り始めは污水处理施設で処理するが、それ以降はそのまま下水へ排水する。中防灰溶融施設もほぼ同様、敷地内路面は毎日2回散水車で路面洗浄することだ。

下水へ排水する場合は排出基準10 pgが適用されるから基準値以下であると一組は説明している。しかし、下水はいずれも分流式。分流式の雨水管や都市下水路は公共水域であり、特定事業所から公共水域に排出されるものは水質汚濁法の環境基準1 pgが適用されることを指摘する研究者がいる。

一組は正しい情報を開示し、ダイオキシン汚染の原因を解明、原因を取り除くとともに、23区民に説明責任を果たすよう求めていく。(環境部会)



中防灰溶融施設入口わきにあるマンホール、ここから汲んだ排水が1.6 pg-TEQ/Lの値を示した。蓋に「雨水」とある。